

令和5年9月29日（金）14:00～14:55
シティプロモーション課 ふるさと応援係
於：宇美町役場2階大会議室右

令和5年度 第2回 宇美町地域公共交通会議議事概要

1 開会挨拶

- ・会長（原田副町長）が行う。

2 報告事項

- ・のるーと宇美の近況報告について

（事務局）資料1説明

（会長）7月10日に大雨により安全面を考慮して1日だけ運休した。今では一日100名を超える利用があり、利用者の年齢構成及び用途についても幅広く利用してもらっている。質問等あれば。

（江口）事前予約というのはどれぐらい前のことか。以前予約した時に、二日前に予約したが待ち時間が結構あった。

（事務局）事前予約自体は一週間前からできる。毎日一週間前の朝に予約を入れられる方もいるし、窓口に来られて案内するときも可能な限り一週間前に予約を入れることをお勧めしている。

（江口）二、三日前でも取れない時があれば、当日予約が取れることもある。事前予約の定義がよくわからない。

（事務局）窓口案内で「いますぐ予約」を一緒にする時にも、すぐにバスが来る時がある。その時には、今回はたまたますぐに取れたけれども、毎回必ずしもそうではないことを伝えている。予約時に「いますぐ予約」か「事前予約」かが選べる。一時間後の予約だとしても事前予約になるから、「事前予約」で取ってくださいと案内しているところである。

（辻（運輸局））乗合率はどれくらいか。また、予約方法の割合も知りたい。

（事務局）乗合率はネクストモビリティ様との打ち合わせの段階で、どの時点の数値を取るか難しいところがあり、数値としては手元にはないが、乗合人数としては基本的には二人以上で乗っていることが多い。

予約の割合は年代で差はあるが、60歳以上であればラインと電話予約の割合が半々であり、それ以下の年代だと7～8割の方がラインやアプリから予約されている。のこり2～3割が電話予約。

（辻（運輸局））のるーとは乗合率を高めることで、待ち時間が少なくなっていくだろうと思う。事前予約のほうが有効であるということなので、車内等でそういったデータを公表しながら事前予約を促すと良いのでは。

- (会長) 運行当初は乗合に割ける時間を5分以内で設定していた。その結果、一人を迎えに行き帰ってくるということの繰り返しで、なかなか予約が取れなかった。その後、13分に変更することによって乗合率がかなり高まっているという報告は受けている。
- (鶴川) 5月の会議の時に、ミーティングポイントで待っている人が目の前を通るのーとに乗ることができない、それは運転手さんに原因があるのではなく、AIの学習能力によるところであるという話だった。その後、AIがどれくらい学習したのか進捗状況を教えてもらいたい。
- (事務局) ルートの決定に関する話になると思うが、毎月運行会社さんと話をしているが、そういった報告は確かにまだあり、随時ネクストモビリティ様にも報告をしている。乗合率も乗降車に係る時間を短くすることで効率のいいルートをAIが判断できるように、現在調整をかけているところ。今現在、これがベストであるということまでは至っていないが、調整をかけながら、また合わせて乗務員さんのシフトも調整しながらやっているところ。乗り過ぎしの報告は今のところ受けていない。
- (小河) 住民の方と話をしたところ、その方は以前予約して乗車したときにその先の予定に間に合わなかったことがあって、もう今後乗らないと言っていた。もう少し早めに予約したらどうかと話はしたが、実際どれくらい遅れが出るものなのか。
- (事務局) 実際に予約したときには、「遅くとも何分頃までには到着します」という表示が出るが、実際には道路の交通状況や工事による片側通行などで、そこからさらに遅れることがある。システムの中では、希望の時間よりどれくらい到着時間が遅れているのか出るが、割と5分ほどの遅れというのは出ている。
- (江口) 途中で乗る人がいたらその人を拾っていくので、到着予定時刻が5~10分程はすぐが変わってしまう。以前乗った時に、宇美駅まで行きたいお客さんがいて、電車の発車時刻に間に合わず、タクシーで行くことにしたようだった。到着時刻は予定できないものか。
- (事務局) 予約の段階で「遅くとも何分までには到着します」と表示されて、その時間を守るようになっている。予定到着時間を過ぎるのに、さらに寄り道してほかの人を拾うことはシステム上、基本的にはない。ただ、予定到着時刻内で拾っていく際に、道路の混雑に巻き込まれて遅くなってしまうことはある。基本的には、最初に予約をいれたときの到着時刻を守るようにしている。
- 宇美駅まで行って、その先の電車に乗る予定がある場合は、5分前に到着する予約では電車に間に合わない可能性があるので、余裕をもって予約してもらうようにお伝えはしている。
- (会長) そのあたりのことは、のーとの特性上ご理解いただく必要がある。宇美広報9月号の中に、「よくあるご質問」として今お話いただいたことも含めてご紹介したところ。特にのーとについては、最短のルートに行くわけではな

く、乗合しながら運行している。予約に関しても、余裕をもって予約していただければと思っている。

(江 口) タクシーと違うということははっきりと宣伝しておく必要がある。

(和 田) 前回の会議でも待ち時間が長いという話があったが、先ほど乗合率を高める設定をすることで乗合率が向上したという報告があったが、平均の待ち時間も短くなっているのか。

(事務局) 資料1 ページ目の表に、平均待ち時間を載せている。4月の平均待ち時間と比べると、5月、6月とだんだんと減少していたが、7月では利用者が多かったことで平均待ち時間は増えている。平均待ち時間だけで考えると短くなったとは言い難いが、平均待ち時間を少なくする取り組みをすることによって、乗合率が上がっている形になっている。平均待ち時間は一人の人が3時間待ちになると平均値がそれに引っ張られてしまうので難しいが、乗降時間の変更などのいろいろな施策の中で乗合率を増やして待ち時間を減らすようにもっている。

(黒 川) 利用者の年齢構成について。ハピネス号利用者と比べるとどの年代でも満遍なく利用されていて、60歳未満の方の利用割合も3倍に増えている。ハピネス号を利用していた高齢者が減っているのではないか。スマホで予約できる方は問題ないと思う。電話で予約できる方も問題ないと思う。それができない方、嫌だと思える方が結構いるだろう。そういった方に対して町では積極的なアドバイスや周知はどうしているのか。

(事務局) 事務局としてもこれまでハピネス号を利用していた方が、どの公共交通に移動したのか気になっていた。3月にハピネス号が運行終了して、4月にのり一とだけになった時に利用が一気に増えると予想していたが結果は違った。西鉄バスさんに乗っているのではないかと調べているところである。

これまでハピネス号に乗っていたが、のり一とに乗りたいと窓口で相談に来られる方は話をすることができるのでいいけれども、そうではなくて始めから「のり一には絶対に乗らない。なぜこんなものを導入したのか。」という方も窓口等に来られる。最初の一步である「予約」というところで止まってしまう方はどうしてもいる。そこは事務局でもどうしたらいいか悩みながら、広報に掲載する等の方法で周知している。ただ、いくら周知したとしても実際乗る必要性に迫られないと乗らないのかとも思う。また、ご家族の送迎などで事足りているのかもしれないなと思いつつも、これからは乗ってください、乗り方のご案内はいつでもできますよということを引き続き続けていくしかないと考えている。

(辻) 子育て支援センターに来られるお母さんの中でのり一とで来られる方は増えた。最近、二組の親子にのり一とについての話を聞くことができた。

一組目の親子は週3回ゆうゆうを利用している。一週間前から行ける日をまとめて予約をしている。いい点はたくさんあるが、不安なことは目的地に何時に着くのかはつきりわからない点であると言っていた。

二組目の親子は、小学二年生のお子さんを一人で習い事に乗せることがあった。その際予約はお母さんがして、乗せるところまで一緒にいたが、子供本人に予約番号を伝えそびれていたため、一緒にいたお母さんが番号を伝えることで無事に乗せることができた。子供は番号を伝えていても覚えられないこともあるので、子供に関しては、番号ではなく名前を言って乗せてもらえたらいいという意見であった。

(事務局) 運用として可能であると思うが、今は番号のみでの乗車である。今後の一つの課題として検討したい。

(鶴川) 今後の方針として、まずのる一とが福祉目的だけではない、住民の利便性あるいは公共性ということがある。スマホでできないとか子供云々とか色々な案件があるだろうが、最終的にはどういう方向で進んでいくのか。例えばミーティングポイントにしても、みなさんが使いやすいように150メートル以内に設置しているが、使われていないポイントもあると思うし、たくさん使っているポイントもある。福祉的な側面を抑えながら利便性を追求していくとなると、ミーティングポイントの見直しなど、ルート検討も視野に入れていかねばならないのではないか。ハピネス号は完全に福祉バスであった。のる一との場合には福祉目的100%ではないということ踏まえながら、話を進めていかないとなかなか達成しない部分があるのではないかと思う。

(和田) 先ほどのる一とが遅れた話はあったが、逆に時間通りに来たがバス停に誰もいなかった例はなかったのか。あった場合はどのように対応したのか。

(事務局) 基本的にはのる一とが早めに来て、早めに出発するという事はない。早めに着いたときは時間までバス停で待つが、誰も来なかった場合も実際にあり、その時は次の予約もあるため、その予約に間に合うように1~2分ほど待つて次の場所へ出発する。

(大井) さきほどの利用促進の話。当然、町なり自治会なりで説明会をやっていくことは大事。高齢の方と公共交通の話をするところがあるが、やはり最初の一步を踏み出すことに結構不安を感じている。説明会に行ったが、実際自分でやってみないことには説明を聞いたがわからなかったということもあるようだ。もし追えるのであれば、よく使っている高齢の方のロコミのような形で「いつもこんなふうにして予約していますよ」「タクシーと違うから絶対にこの時間には着かないけれど、ある程度は大丈夫ですよ」ということを、同じ世代の方が伝えていく作業をするほうが、実は効果的なのではないか。そうすると「あの方が使えるなら私もできるね」というふうにな不安感がきっと下がる。そういう形でも進めていただければ。

(会 長) この後の協議会の中でも、のるーとの状況については詳しい報告をしていきたい。

3 その他

・西日本鉄道(株)が報告を行う

① 西鉄バスの運賃改定について

報道にあるとおり、6月15日に運賃の値上げについて国土交通省に申請を行っている。認可次第であるが、2024年1月に値上げを実施予定。初乗り運賃が170円から210円になる。初乗りは20数%の値上げであるが、平均で行くと12%の値上げになる。のるーとの運賃設定が200円。バスよりも高くタクシーよりも安い設定で運行しているので、運賃値上げになった場合は、のるーとよりも西鉄バスのほうが高くなる。

(会 長) のるーとの運賃に関しては、当初より、バスよりは高くタクシーよりも安いというところで設定した経緯がある。話があったとおり1月からバスの料金が変わる可能性があるが、当町としては運行を開始したばかりであるので、運賃は据え置きのみで継続していきたい。今後料金改定が行われた際には、この会議で語りながら検討していきたい。

② 西鉄バス路線（坂瀬線）の減便について

370番と390番の都市高速を使って天神まで行く路線が、現在平日49便から25便へ半減となる。減便する便は午前9時以降の天神行きである。朝の時間帯は通勤需要があるが、9時以降はほとんど利用がない状況。宇美町内からは博多、天神を経由して大濠公園前まで行く便が多数あることと、福岡空港を経由して博多駅へ接続している便があることから、昼間の都市高速を使って天神までダイレクトに行く需要が低かった。

すでに報道されているとおり、福岡市内の減便が大きく、一番の要因としては、乗務員不足。一日100人ほど乗務員が足りていない状況。

③ 宇美～太宰府線のJR宇美駅への乗り入れについての考え方について

補助を含めて申請をしているところ。太宰府から宇美営業所へ入っている路線。これを宇美町役場入口交差点から右折して、JR宇美駅に終点系統を持っていきたい。今、案を考えているところ。理由としては全国的に有名な太宰府天満宮を結ぶ路線であることから、JRで香椎・長者原方面からダイレクトに宇美駅まで来て、そこから降りてすぐバスがあることで、太宰府天満宮とつないで利用増を計りたい。アンケート等でも、通勤通学での利用がほとんどだったため、それプラスアルファとして増収につながるような施策として宇美営業所ではなくてJR宇美駅に接続させる計画をしているところ。実施については、来年春を目途に進めているが、補助金受給の路線でもあることなので、このような場で具体的に説明させていただきながら、議論を進めたい。

- (会 長) 当初、廃止も検討されていた路線。おもに通勤通学に利用されていて、太宰府さん含めて協議をしていく中で、なんとか路線継続をということでお互いの市町で補助金という形で負担しながら継続を進めてきたところ。この半年間の利用状況を見ても、コロナ禍で減っていた利用者がずいぶん戻ってきて、一日 300 名弱の方がコンスタントに利用している。宇美駅まで乗り入れすることでさらに利便性が高まるのではないかと。
- (鶴 川) 太宰府線に関しては、通勤通学で需要があるということから補助を入れながら継続してきたが、JR宇美駅まで乗り入れてもらったら我々も利用できる可能性がある。宇美駅までの乗り入れは日中には何便程度行うのか。
- (中 島) 基本的には全便、JR宇美駅の系統にしたいと考えている。今行き先が「宇美営業所」と表示されているものを、太宰府の時点で「JR宇美駅」という表示にして、JRに接続します、東方面にはご利用が可能ですよということをしつかりと宇美駅にも掲示して告知していきたい。
- (会 長) JRに接続することで、須恵の方面ほうからもJR宇美駅に降り立ってそこから太宰府へ利用してもらいたい。
- (辻 (運輸局)) 西鉄さんの話に補足するが、福岡県内では運転手不足で路線減少が相次いでいる。自治体のほうから補助金を出すから継続してくれという声が出て、本当に運転手不足で路線維持が厳しい地域も多々ある。西鉄バスさんとしては、運賃改定をして、初乗り運賃を 210 円に値上げして、運転手さんの待遇改善につなげて運転手不足に対応しようとしているが、運賃を値上げしてものる一との方が安いからとそちらに行けば、西鉄さんの収入が増えずに運転手さんの待遇が改善されないことも懸念される。今の段階でのる一との値上げをしないということについては重々承知であるが、西鉄さんの運賃改定後は利用状況を勘案して積極的な値上げや据え置き等考えていただければと思う。